

お散歩マップ

照島



いちき串木野警察署

312

酔ノ尾

モスバーガー
カフェ&パトーフハード
麺どころさつま

照島小学校

A 大鳥居



大鳥居は元々道路側にありましたが、区画整理の為、現在の場所に移っています。現在の鳥居の場所は、かつて漁協があった場所、ここで水揚げがされていました。

B 太鼓橋



照島は、東西250m、南北100mぐらいの小島ですが、怪石、奇岩が多く四季の変化に富んでいます。陸と島をむすぶ朱の太鼓橋は、松の緑に映えて美しく、年月を経た石段を登ったところに照島神社があります。現在の橋は3代目で、昭和59年3月に完成しました。

C さつま焼陶工上陸地



慶長3年12月、島津義弘、忠恒親子が朝鮮出兵の際朝鮮陶工70余名を連れて凱旋しましたが、鹿児島に行くことを拒んだ43名の陶工達が、この地に上陸しました。

D 唐ねこどん(こま犬)



普通は狛犬ですが、照島神社は唐ねこどんが「あー」「うんー」と口を開けて座っています。(物事の始まりは「あ」で始まり「うん」で終わる。すなわち全てという意味。)昔は数体あったとも言われ、朝鮮の陶工達の奇進ではないかとされています。

E 手洗鉢



元禄14年(1701)ころ、海の事故で沢山の漁師の方が亡くなられ、亡くなられた方を供養するために造られました。

F 馬頭観音



馬、牛、他家畜の守り神で食べ物の神様です。働きの馬、牛を供養するために作られました。

G 経塚の碑



その昔、冠岳の修行僧が照島にあった大きな洞穴の中で修行していました。大阪の住吉大社と同じ御利益があります。御祭神は「商売繁盛」の大己貴命(おおなむちのみこと)、少彦名命(すくなひこなのみこと)、[山の神]の大山積命(おおやまつみのみこと)です。

H 照島神社



日本書紀によると、照島湾で、蛭子神が、魚釣りを楽しまれたそうです。大阪の住吉大社と同じ御利益があります。御祭神は「商売繁盛」の大己貴命(おおなむちのみこと)、少彦名命(すくなひこなのみこと)、[山の神]の大山積命(おおやまつみのみこと)です。

I 方士 徐福登陸の地



約2200年前、秦の始皇帝の命を受け「不老不死」の妙薬を求めて方士徐福一行が上陸したと伝承されます。

J 女池



日本神話に出てくるイザナギノミコトとイザナミノミコトの御子奥の三郎の神は、三歳になっても足が立たないので葦の舟で島平浦に流れ着き、上陸された島を「照島」と名付けました。

L 展望所



M 驪龍巖(りりょうがん)



寛政2年(1790)3月、島津家26代露宣公が市来温泉に湯治に来た折、照島に立ち寄りしました。男池と女池を眺めて、しばらくして男池の上にある岩に驪龍巖(りりょうがん)と書かせ彫刻させました。

K 男池



日本神話に出てくるイザナギノミコトとイザナミノミコトの御子奥の三郎の神は、三歳になっても足が立たないので葦の舟で島平浦に流れ着き、上陸された島を「照島」と名付けました。三歳になっても足が立たないので葦の舟で島平浦に流れ着き、上陸された島を「照島」と名付けました。跡が回復するまで照島で釣りを楽しくしていました。釣りをしていた場所をナギ池(男池)ナミ池(女池)と称され御両親神を偲ばれていたそうです。